

とだ

議会だより

No. 221

3 令和5年
月定例会

発行：2023年5月1日



議会の新体制が決定
安心、希望、持続可能の実現に向けた予算始まる
各派代表者による総括質問
市議会「服装の自由化」を試行

▶ 02
▶ 04
▶ 10
▶ 21

戸田市議会

検索



<https://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/>
表紙：入園式（喜沢南保育園）

2月2日、3日にかけて役職改選が行われ、新たな正副議長と、各委員会の構成が決まりましたのでお知らせします。



竹内 正明 議長



そごう 拓也 副議長

▼正副議長からごあいさつ

このたび、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長に就任いたしました。

今年は、新型コロナウイルス感染症が5類相当へ移行されるなど、私たちの生活は新たな局面を迎えます。

本市議会におきましても、新たな局面にしっかり対応しながら、アフターコロナ時代に向け「対話」を重視した市民目線の市議会運営を目指してまいります。引き続き、皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▼各委員会の構成が決まりました

総務常任委員会

市行財政運営、市有財産管理、消防行政、戸田ポートレース事業



三浦 委員長



佐藤 副委員長



小金澤 委員



むとう 委員



そごう 委員



伊東 委員

文教・建設常任委員会

学校運営、教育施設、社会教育活動、建設計画並びに事業、都市計画並びに事業、交通安全、住宅行政



峯岸 委員長



酒井 副委員長



竹内 委員



林 委員



花井 委員



榎本 委員



熊木 委員

健康福祉常任委員会

社会福祉事業、国民健康保険事業、医療・保健行政、介護保険事業、子供・青少年の育成



三輪 委員長



野澤 副委員長



みうら 委員



矢澤 委員



本田 委員



高藤 委員



細田 委員

市民生活常任委員会

市民生活事業、上下水道・河川管理事業、経済・環境事業



浅生 委員長



古屋 副委員長



宮内 委員



石川 委員



山崎 委員



遠藤 委員

区分	委員長	副委員長	委員							
まちづくり・交通対策特別委員会	榎本	酒井	むとう	野澤	石川	山崎	細田	熊木		
議会改革特別委員会	三浦	斎藤	小金澤	みうら	林	本田	浅生	遠藤		
議会広報委員会	伊東	花井	佐藤	宮内	三輪	古屋	矢澤	峯岸		
議会運営委員会	石川	遠藤	むとう	矢澤	斎藤	酒井	三浦	山崎	細田	

本市議会では、4つの常任委員会における「年間活動テーマ」の取り組みや、議会改革特別委員会での取り組みなどを積極的に行っています。

今年も「戸田市議会年間活動計画」を基に活発な議員間討議を行い、執行部に対して様々な政策立案・政策提言を行っていきます。

過去のテーマ

などはこちら



常任委員会の年間活動テーマとスケジュール

委員会名	年間活動テーマ	テーマの背景
総務	戸田市における防災対策について	近年頻発する自然災害に対する本市の備えについて調査・研究していく。
	(仮称) ありがとう条例の制定について	お互いを尊重し合い、幸せを実感できるまちを目指した理念条例の制定に向けて協議する。
文教・建設	学校における防犯体制の強化について	児童生徒が安心して過ごせるよう、学校の防犯体制の強化について調査・研究していく。
健康福祉	子ども・若者の支援について	子ども・若者が自分らしく生きられるよう、新たな支援策について調査・研究していく。
市民生活	町会・自治会と行政の関係について	町会・自治会運営に無理が生じてきており、地域課題解決のための手法について調査・研究していく。

テーマについて執行部にヒアリングを行うなど、調査・研究を進めます。



テーマに関連する団体と懇談会を開催し、ご意見を伺うこともあります。



2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
テーマ設定		協議	視察 検証			協議			視察 検証	協議	まとめ

先進自治体などを視察し、本市に生かせないか、検証を行います。



1年間の活動の結果をまとめ、執行部に提言書などを提出します。



議会改革特別委員会での取り組み

※議会DCPについて

大規模災害発生時にも議会制民主主義（議会活動）を継続できるための計画について検討する。

※DCP…Democracy Continuity Planningの略

議場及び委員会室等の環境整備について

議場の音響設備等の更新時期に来ていることから、システムや設備について協議する。

服装等に係る申し合わせ事項の見直しについて

男女平等や多様性を尊重することを目的とし、議会における服装の自由化の試行を実施する。

▶詳細は21ページをご覧ください。

オンライン委員会の開催要件等について

オンライン委員会を開催するにあたり、開催要件の緩和や運営方法について協議する。

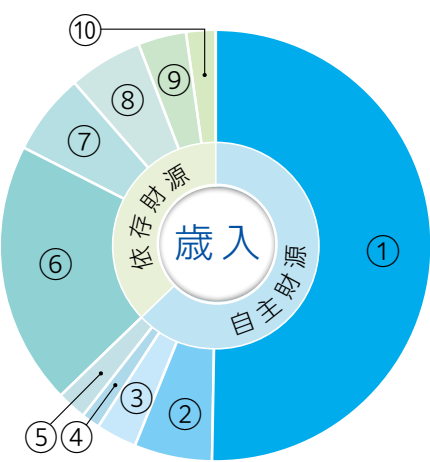
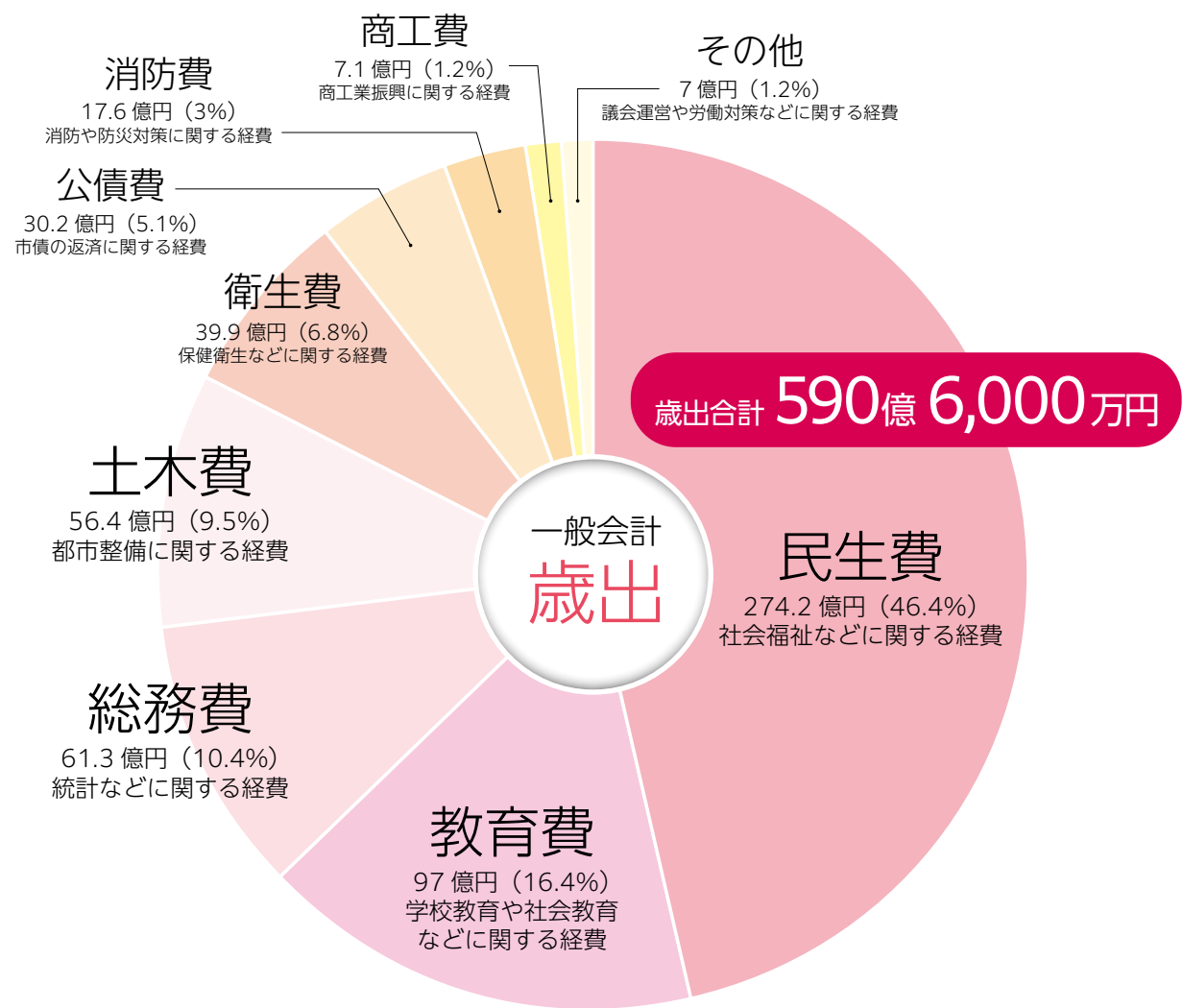
令和5年度
予算決まる

安心、希望、持続可能の実現に向けた予算始まる

2月20日から3月24日にかけて開かれた3月定例会では、昨年度と比較して4.7%の増となった令和5年度予算案が示され、委員会での審査を経て、慎重審議された結果、全会一致で可決されました。

令和5年度予算のあらまし

		前年度比
一般会計	590億6,000万円	4.7% ↑
特別会計・企業会計	327億4,518万円	4.5% ↑
令和5年度予算総額	918億518万円	4.6% ↑



歳入合計 590億6000万円

①市	税	297.8 億円
②繰	入 金	34 億円
③諸	収 入	19.2 億円
④繰	越 金	7.5 億円
⑤その他	自主財源	13.3 億円
⑥国	庫 支 出 金	115.5 億円
⑦県	支 出 金	36.9 億円
⑧地方	消費税交付金	32.2 億円
⑨市	債	22.4 億円
⑩その他	依存財源	11.8 億円

※百万円単位は四捨五入

令和5年度の一般会計予算は、昨年度と比較して4.7%の増加となりました。

増加の主な要因としては、市役所本庁舎のスロープ改修工事の他、市内の全小中学校への電子黒板機能付プロジェクトの導入や民間保育所事業に関する予算の増加などが挙げられます。

「子ども応援」「100年健康」「防災」3大プロジェクトから

令和5年度 注目事業

※千円単位は四捨五入

子ども
応援

電子黒板機能付き
プロジェクトを導入

児童生徒の学習意欲や理解力の向上などを目指し、全ての教室に電子黒板機能付きプロジェクトを導入します。

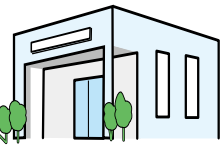


6億6,472万円

子ども
応援

こども家庭センターを設置

妊産婦やヤングケアラーなどを含め、すべての子育て世帯を支援するため、こども家庭センターを設置します。(福祉保健センター内)

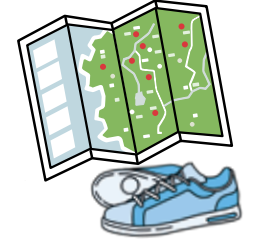


5,224万円

100年
健康

歩きたくなる「まちなか」
で健康増進

市内3駅周辺を歩きたくなる場所に転換し、賑わいの創出と健康増進を目指す「まちなかウォーカブル推進事業」を進めます。

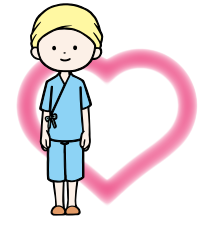


2,054万円

100年
健康

がん患者への補助金を創設

がん対策推進条例の制定に伴い、外見の変化に伴う苦痛や若年がん患者を支援する2つの補助金を創設します。

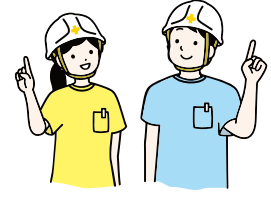


1,017万円

防災

中学生防災士を育成

災害時の「共助」の担い手不足解消のため、中学生を対象とする「防災士資格取得支援補助金」を創設します。



320万円

防災

バーチャル浸水体験を導入

浸水被害を疑似体験できる機器を導入し、直感的に災害リスクを理解できる機会を提供します。



285万円

賛成

将来のまちづくりへの
希望が感じられる
浅生 和英 議員

予算案からは「3大プロジェクト」をはじめ、市長公約の実現により「コロナ禍を克服し、命と暮らしを守る」という強い決意を感じる他、新規条例や各種計画の策定など、将来の政策推進の屋台骨となる取り組みも見られ、まちづくりに対する明確なビジョンと希望が感じられる。

賛成

決算時には詳細な分析
と報告を求める
細田 昌孝 議員

全体としては厳しい状況に対応した予算であり賛成だが、世界情勢の影響などで市民生活が圧迫される中、例年の3倍以上となる戸田橋花火大会、2倍以上となるふるさと祭りに対する補助金・助成金は過大ではと考え、決算における詳細な分析と議会への報告を求める。

賛成

市民要望に十分応えられる
予算規模
むとう 葉子 議員

市民要望に十分応えられる予算規模で、平和首長会議国内加盟都市会議総会への初参加をはじめ、障害者雇用の推進、がん対策の補助金創設など、主だった12の施策を評価する。市民医療センターの公的医療機関としての役割発揮と、物価高騰などに対する機敏な対応を要望する。



主な議案と質疑

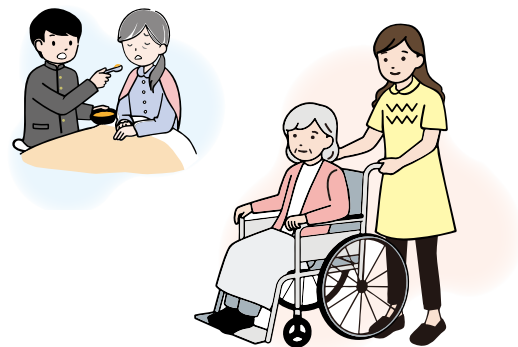
今定例会では、令和 5 年度予算を含め、市長提出議案は 40 件、議員提出議案が 5 件提出され、いずれも可決・同意された他、請願 2 件、陳情 1 件が不採択となりました。ここでは、質疑や討論が行われた議案などを紹介します。

福祉

議案第 3 号 戸田市ケアラー支援条例

すべてのケアラー支援に向けた条例を制定

18 歳未満のヤングケアラー^{*}を含む、すべてのケアラーが自分らしく、健康で文化的な生活を営める地域社会の実現を目指し、新たに条例を制定するものです。条例では、市の責務としてケアラーの早期発見などに努めることや、市民や事業者の役割として市の施策への協力に努めることなどを定めています。



経済 支援

議案第 2 3 号 令和 5 年度戸田市一般会計予算

プレミアム付電子商品券で家計と市内経済を支援

コロナ禍や物価高騰による影響を受けている市内経済を支援するため、プレミアム率 20% のプレミアム付商品券を、電子商品券という形で販売するものです。



Q 実施期間と市内参加店舗の状況は。

A 申込と購入期間を 7 月から 8 月にかけての約 2 カ月間とし、商品券の使用期間は 9 月から令和 6 年 1 月にかけての約 5 カ月間とする予定。参加店舗としては、多くの方に購入してもらえよう、大型店舗も対象とする予定だが、利用が大型店舗に偏らないよう工夫していく。

※ 4 月 20 日現在の見込みでは、申込と購入期間は 8 月から 9 月

一般 会計

議案第 13 号 令和 4 年度戸田市一般会計補正予算（第 13 号）

令和 4 年度 一般会計補正予算を可決

可決（賛成 22 人 反対 3 人）

反対

- ①財政調整基金の残高は過大である
- ②積み立てではなく生活支援に生かすべき

日本共産党戸田市議団 むとう 葉子 議員

①基金の年度末残高は約 74 億円と、市が必要と説明してきた 60 億円を大きく上回っており、繰越金の半分以上を積み立てることは問題②約 30 億円は基金に積み立てるのではなく、コロナ対策による給付などがなくなり、物価高騰で大変な市民の生活支援に生かすべき。

賛成

- ①減収や災害に備えた基金積み立ては必要
- ②さまざまな支援策を実施してきた

戸田の会 佐藤 太信 議員

①財政調整基金は、想定以上の減収や災害発生時にも市民サービスを継続していくため、適正な基金残高の維持が不可欠で、積み立ては必要である。②新型コロナや物価高騰への対策として、上下水道の基本料金減免や給食費無償化など、さまざまな支援策を実施してきた。

特別 会計

議案第 24 号 令和 5 年度戸田市国民健康保険特別会計予算

令和 5 年度 国民健康保険特別会計予算を可決

可決（賛成 22 人 反対 3 人）

反対

歴史的な物価高騰で市民生活は厳しく、値上げは中止すべき

日本共産党戸田市議団 本田 哲 議員

国保税均等割りは 2 年連続で値上げとなる。令和 3 年 12 月定例会では、コロナ禍で生活が苦しい市民の負担を増やす条例改正に反対した。歴史的な物価高騰の中、計画通りの一般財源からの繰り入れ解消で良いのか。市民生活が厳しい今、値上げは中止すべきである。

賛成

「財政の安定化を図る税収」と「急激な負担を抑える配慮」に基づく予算

戸田の会 野澤 茂雅 議員

国保財政が大変厳しい状況の中、激変緩和措置を行いながら税制改正を行い、税収の確保を図る一方、市民の暮らしも考慮し、低所得者への軽減制度や未就学児への軽減措置が取られるなど、「財政の安定化を図る税収」と「急激な負担を抑える配慮」に基づく予算である。

請願 陳情

今定例会では 2 件の請願と 3 件の陳情が提出され、審議した結果、3 件が不採択、2 件が継続審査となりました。

◇請願第 1 号 国に対し「消費税率を 5% に引き下げる意見書」の提出を求める請願書 不採択（賛成 3 人 反対 22 人）

賛成

物価高騰対策の決め手は消費税率の引き下げ

日本共産党戸田市議団 本田 哲 議員

物価高騰が世界的に影響を及ぼす中、多くの国で消費税率引き下げを実施・検討している。逆進性のある消費税に依存せず、大企業などに応分の負担を求め、個人消費を伸ばすべき。今こそ消費税率の引き下げを。

◇請願第 2 号 国に対し「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を求める意見書」の提出を求める請願書 不採択（賛成 3 人 反対 21 人 棄権 1 人）

賛成

当事者の声を聴き、制度導入の中止を

日本共産党戸田市議団 本田 哲 議員

制度導入は小規模事業者や個人事業主などに大きな影響を及ぼし、全国商工団体連合会などさまざまな団体が中止を求め、多くの自治体で請願が採択されている。当事者の声を聴き、制度導入中止と消費税減免を。

◇陳情第 3 号 原発推進政策の見直しを求める陳情 不採択（賛成 3 人 反対 22 人）

賛成

原発事故の教訓を忘れることは許されない

日本共産党戸田市議団 むとう 葉子 議員

福島での原発事故も収束せず、被害者救済も不十分、そんな中での方針転換は被害者の心を二重に踏みにじるもの。電力不足と原発は無関係で、誤解に乘じ、大事故の教訓を忘れて原発回帰することは許されない。

◇陳情第 1 号 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情 継続審査

◇陳情第 2 号 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情 継続審査

意見書

議員提出議案として意見書 5 件を可決し、国・政府に提出しました。

- ◇アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書
- ◇新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の強化を求める意見書
- ◇地域のグリーントランスフォーメーション（GX）の促進を求める意見書
- ◇認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書
- ◇保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書

人事

◎戸田市固定資産評価員

よしのひろし 吉野 博司 氏（新任）

《結果》同意（全会一致）

委員会の審査から



総務委員会
文教・建設委員会
健康福祉委員会
市民生活委員会

議案などは、各委員会に付託され、慎重に審査されます。
その経過と結果について、3月24日の本会議で各委員長から報告がありました。
ここではその概要をお伝えします。

総務常任委員会

市行財政運営、市有財産管理、消防行政、戸田ポートレース事業

〈令和4年度補正予算〉

委員 財政調整基金残高の妥当性に対する認識は。
執行部 類似自治体と比較しても決して多いというわけではないと考えている。

〈令和5年度予算〉

委員 デジタル人材の確保の状況は。
執行部 令和4年度は、初めてとなるデジタル人材に特化した募集を行ったが採用には至らず、今後も引き続き募集していきたい。
委員 デジタル分野については専門的な知識が必要であり、デジタル人材の確保と育成を図ってほしい。

委員 庁舎東側トイレ修繕での、電動車いすでも利用しやすいスペースの確保や、ユニバーサルシートなどの導入予定は。

執行部 限られたスペースの中で、どのような機

能が取り入れられるかを検討しながら進めていく。

委員 防災訓練等支援業務の進め方は。

執行部 より実践的な訓練を検討するため、訓練の目標などを委託事業者に提示し、事業者のノウハウを生かした支援を受けながら訓練メニューを構築していくことなどを検討している。



より実践的な防災訓練が検討されます

文教・建設常任委員会

学校運営、教育施設、社会教育活動、建設計画並びに事業、都市計画並びに事業、交通安全、住宅行政

〈令和5年度予算〉

委員 4月から着用が努力義務となる自転車利用者へのヘルメット着用の促進は。
執行部 スケアード・ストレイトの演目の中に取り入れるなど、市民に分かりやすく伝えていきたい。

委員 まちなかウォークブル推進事業は、町会や近隣住民の意見を取り入れながら進めてほしい。

執行部 市民参加の機会を設けて意見を伺い、民間活力を生かしながら進めていきたい。

委員 図書館のデジタル化の推進により、どのように利便性が向上していくのか。

執行部 マイナンバーカードを活用した更新手続きやオンライン申請による本のリクエストができないか検討している。

〈令和5年度土地区画整理事業特別会計予算〉

委員 調整池整備は浸水対策にも寄与しているので、関連する貯留管整備などと併せて分かりやすく情報発信できないか。

執行部 調整池整備は区画整理事業に伴い県条例に定める貯水容量を確保しているが、浸水対策にもつながるため、関係部局と連携して情報発信していきたい。



ヘルメットの着用が求められます

健康福祉常任委員会

社会福祉事業、国民健康保険事業、医療・保健行政、介護保険事業、子供・青少年の育成

〈令和5年度予算〉

委員 障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画の策定にあたり、コロナなどの現状をどのように反映させていくか。

執行部 コロナも含め、障害者本人やその家族の方のニーズなどについてアンケート調査を予定しており、その結果を見ながら施策を推進していきたい。

〈令和5年度市民医療センター特別会計予算〉

委員 オンライン診療の詳細は。
執行部 令和5年4月から開始する予定で準備を進めており、内科は慢性疾患、小児科はアレルギー疾患等の患者を想定している。

〈令和5年度補正予算〉

委員 新型コロナウイルスワクチン接種による副反応などの案内は。

執行部 国が提示している情報を分かりやすく伝え、接種は任意であることや、効果や副反応についてご理解いただいた上で判断していただくよう案内している。

委員 周囲の方がワクチンを打っていて悩んでいる方もいると思うので、引き続き丁寧な対応をお願いしたい。



ワクチンについての正しい情報周知を

市民生活常任委員会

市民生活事業、上下水道・河川管理事業、経済・環境事業

【令和5年度予算】

委員 ふるさと祭りの助成金額の増額理由は。
執行部 市民と協働し、企画運営して進めることに注力しづらい状況があったため、ステージ運営など一部業務を委託することにより、増額となった。
委員 本来のふるさと祭りらしい在り方を考え、より市民に親しまれ、喜ばれる祭りにしてほしい。

委員 ボール公園利用においてマナーが損なわれているケースが見受けられるが、公園管理の仕方は。

執行部 指定管理者による通常の維持管理の他、利用時間に応じた鍵の開閉や、ごみ清掃、ネットなどの破損確認について、委託により管理している。また、公園リニューアル計画に基づく社会実験を通じて、公園の利用マナーの点もしっかり市民に伝えていきたい。

〈令和5年度水道事業会計予算〉

委員 光熱水費の値上がりにおける影響は。
執行部 電気料金の高騰が厳しい状況であり、水道事業収益を圧迫するものであることから、収益が大きく減少した。
委員 利用者への価格転嫁は市民生活に直結する恐れがある。慎重に推移を見極めながら対応してほしい。



本来のふるさと祭りらしい在り方を考えた祭りが求められます

総括質問

各派代表者が市長に聞く！

総括質問とは、新年度の施政方針に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表制質問のことです。

今定例会では、3月3日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをたしました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の総括質問の録画配信映像をご覧ください。



シニアが人生を楽しめる社会へ

就労、健康、学習などをメニュー化

戸田の会
さか い いく ろう
酒井 郁郎 議員



議員 シニア世代が希望に合わせて働く「生きがい就労」に適した仕事の創出、多様なニーズに合った健康増進メニューの提供などの幅広い取り組みで、衰えを防止し人生を最後まで楽しめる施策を。

市長 シニア社会参加推進プランを策定し、就労、健康づくり、地域活動、学習などのメニューを作る。幅広いニーズやライフスタイルに対応したい。



人生100年時代に向けた社会づくりが、国を挙げて急ピッチで進みます

学童保育の質的向上を

議員 駄菓子中心の乏しいおやつ改善と、おやつ以外の面にも民間を活用し、質の向上を。

市長 食育や栄養面にも考慮したおやつ選定を行うよう、関連予算を拡充するほか、保育の質向上を目指し、民間事業者に委託しノウハウの提案を求める。

マンション管理のサポートを

議員 マンションの老朽化が進む中、その管理は重要な課題。管理組合ごとに実力が異なるが、金銭面・マンパワーの負担増などの課題へのサポートは。

市長 マンション管理の推進計画、認定制度を創設し、管理水準の底上げや、資産価値向上を狙う。認定取得のためのセミナーや、専門家の具体的なアドバイスを提供するなどサポートを充実していく。

不登校児童生徒への支援を

議員 近年、ますます不登校の小中学生が増加している。不登校児の選択肢を拡大する取り組みを。

市長 一人ひとりのニーズに応じた教育を進める。

都市計画道路前谷馬場線の 拡幅整備の現状は

第1工区は今年度中に
完成予定

みらいの会
えの もと もり あき
榎本 守明 議員



議員 二枚橋交差点から戸田駅に通じ、まちの玄関口ともいえる「都市計画道路前谷馬場線」の拡幅整備は、交通安全や都市景観の面からも注目度の高いものであり、着実な前進が求められている。前谷馬場線の整備状況と今後の計画は。

市長 新曽柳原交差点より南側の第1工区は今年度中に完成する予定である。新曽柳原交差点より北側の第2工区は用地取得率が約53%で、引き続き用地取得を進める。また、用地交渉がまとまった箇所は、交通安全対策などの効果が見込まれる場合は暫定的な整備を検討する。



前谷馬場線の着実な整備が求められています

公共施設管理に対する考え方は

議員 公共施設等総合管理計画の改訂に当たり、スポーツセンターの在り方を含め、公共施設の管理に対する考え方を伺う。

市長 公共施設等総合管理計画の改訂に当たり、施設寿命のみに捉われず、必要に応じて施設の在り方を検討し、本市の将来を見据えて本当に必要な施設を計画的に再考していく仕組みを構築する。スポーツセンターについては、公共施設等総合管理計画の改訂内容との整合性を図り、老朽化や市民ニーズの変化、課題などを整理し、今後の在り方について複合的に検討していくため、調査、検討業務を令和5年度に実施する。建て替えを含め、既存の改修計画との比較検討を行う。

条例制定で ヤングケアラーへの支援を

支援調整連絡会の設置で
支援する

公明党
み うら よし かず
三浦 芳一 議員



議員 ケアラー支援条例の制定によるヤングケアラー支援の推進について伺う。

市長 ケアラー支援調整連絡会を設置し、関係機関の連携により、ヤングケアラーへの支援を進める。

こども家庭センターの設置へ

議員 こども家庭センターの設置に向け、具体的な内容と推進について伺う。

市長 4月から先行して設置し、すべての妊産婦、子育て世帯、子供への一体的な相談支援体制を強化していく。

地域防災力の向上を

議員 地域防災力の向上を目指す、実践的な防災訓練の実施について伺う。

市長 地震・風水害の被害と対処事項を取りまとめ、防災訓練のシナリオや役割分担を作成し、実践的な防災訓練へと見直していく。

市役所で「書かない窓口」の拡大を

議員 住民票や印鑑証明書、記入せずに申請できる「書かない窓口」の推進について伺う。

市長 行政のデジタル化推進の一環として、令和4年12月から「おくやみコーナー」を導入した他、市民からの申請を受け付ける窓口についても「書かない窓口」を拡大していく。さらなる市民の利便性向上に努めるとともに、デジタル市役所の実現に取り組んでいく。



令和4年から導入されたおくやみコーナー



立地適正化計画の防災指針の策定内容は

防災まちづくり将来像の位置づけ

令和会
さいとう なおこ
斎藤 直子 議員



議員 立地適正化計画の防災指針の内容は。

市長 防災まちづくりの将来像や目標値、ハード・ソフト両面からの防災減災対策などを指針に位置付ける。策定に当たり、防災上の課題分析を行う際は、3D都市モデルで可視化された防災上のリスク情報を活用する。

芸術文化活動の推進は

議員 文化芸術が持続可能な社会の実現に貢献すると考えるが、市の具体的な促進内容は。

市長 「音楽をもっと身近に」をコンセプトに、活動発表の場への助成など、多様な音楽活動の支援に取り組む。



音楽をもっと身近となるよう、多様な支援が取組まれます

地域で子育て支援推進条例の効果は

議員 条例制定によって期待する効果と、策定までの市民との意見交換の機会はあるのか。

市長 地域全体での子育て応援による子育て施策の推進が目的。市や家庭、学校などの役割と特性を生かして互いに連携していき、地域全体で子育てを応援する機運醸成を図る。児童福祉審議会や専門家の助言、子供の意見も聴き、パブリック・コメントを実施予定。

認知症対策を推進する条例の内容は

議員 見守り体制が必要と考えるが、条例の内容は。

市長 誰もが認知症を自分事として考え、正しい知識と理解をもって、認知症になっても同じ社会の一員として地域を共に作り、誰もが安心して生活できるまちの実現を図るため、条例を制定する。



市の独自財源で物価高騰対策の実施を

国から財源が示されれば検討する

日本共産党戸田市議団
ほんだ てつ
本田 哲 議員



議員 41年ぶりの歴史的な物価高騰の中、市民負担は増すばかりである。市民に一番身近な自治体として、市民の命とくらしを守る立場から、市の独自財源で物価高騰対策を実施すべきである。

市長 物価高騰は全国的な課題である。国から新たな財源が示されれば、迅速に対策を検討する。

議員 国の交付金待ちではなく、本市の豊かな財政を生かし、上下水道基本料金の減免、給食費無償化の継続などの生活支援策の実施を強く求める。

ゼロカーボンシティ宣言の表明はいつか

議員 地球温暖化対策などの強化として、「ゼロカーボンシティ宣言」の早期表明を市長に求めてきた。「ゼロカーボンシティ宣言」の表明はいつ行うのか。

市長 令和5年度中に環境基本計画を改定することから、令和6年度のなるべく早い時期に表明する。



令和5年度中に改訂が予定されています
(計画の内容はQRコードから確認できます)



学童保育室のおやつ見直しの内容は

議員 学童保育室のおやつの改善を長年求めてきた。栄養となるおやつへの見直しの具体的な内容は。

市長 食育の観点を取り入れ、児童の健全な発育を考慮したおやつになるよう見直しを行う。

グリーンインフラ普及の目的は

議員 グリーンインフラ普及の目的は。

市長 地球温暖化・気候変動が社会問題となる中、グリーンインフラの考え方を取り入れ、都市環境と自然環境が調和したまちの形成を目指す。

一般質問

そこが聞きたい！

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、15人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。

3月13日からコロナ対策を緩和しました



歯の健康



つぶやき

虫歯予防が生活習慣病予防につながります

戸田の会
さとう たかのぶ
佐藤 太信 議員



Q フッ化物を活用した取り組み、効果は

A 歯質の強化が図られ虫歯予防につながる

議員 40歳代以上、20本以上の歯を持つ人の割合は全国平均と比較して本市は低い状況にある。幼少期からの虫歯予防は重要①生活習慣病との関連は②子供の頃から園や学校でフッ化物洗口を経験している場合、成人期においても虫歯が少なく、フッ化物洗口の実施期間が長いほど効果があることが示唆されている。家庭環境に影響なく子供に恩恵があるため健康格差を減らす効果がある。フッ化物を活用した取り組み、効果、戸田歯科医師会との連携を。

健康福祉部長 ①歯周病は糖尿病をはじめ、心疾患などさまざまな疾患のリスクになるとされており、歯周病の予防は生活習慣病の予防につながる②乳歯の歯質の強化のため、1歳8か月児、2歳6か月児健診時にフッ化物歯面塗布を実施。定期的にフッ化物洗口が行われることにより、子供の歯質の強化が図られ虫歯予防につながる。

こども健やか部長 ②フッ化物を用いた「うがい」は、保育園3園、4・5歳児を対象に行っている。公立保育園の園長会議等で周知する。

教育部長 ②フッ化物を活用した取り組みは実施していない。実施している自治体からの情報収集などを進めるとともに校長会を通じて学校に情報提供する。



※フッ化物洗口…フッ化物を含んだ洗口液で口の中をすすぎ、虫歯を予防する方法

録画配信

QRコード

地域活性化

つぶやき

交流の場の創出など、活動活性化支援を

みらいの会

そごう 拓也 議員

Q 感染対策の大幅緩和後の地域活性化は

A 安全面に配慮し、きめ細かく対応する

議員 新型コロナの5類への移行で、感染対策が大幅に緩和される。長期の自粛はサークル参加者の減少、行事の縮小や中止など、地域に大きな影響を与えた。今後の地域活性化について伺う。

市民生活部長 さくらパル、コンパルでは多くの世代の方に参加いただける講座を企画していく。また、さくらパルのHPリニューアルに併せてサークル活動の周知を図り、活動活性化支援をする。今後の公共施設予約システム統合の際には、短時間利用者が利用しやすいよう、短時間料金の設定など検討事項とする。

教育部長 健康増進や生きがいづくり、交流の創出となるサークル活動の活性化に向け支援していく。公民館まつりでは、学校と連携した作品展示や体験型コーナーなどで若い世代の参加を促し、地域活性化につながるよう充実を図る。公民館講座では、一つのテーマを設定し、共に学び、体験し、さらに学びを生かした活動や交流のきっかけとなる情報提供をセットにしたパッケージ型の講座を開催する。



地域活性化が図られます

その他の質問

Q 鳥のフン被害への対応は。

A 環境課が状況を伺い、関係部局と連携して対応する他、市以外の問い合わせ先の案内も行う。

録画配信

QRコード

子供の健康

つぶやき

大人になる前に小中高生時代からの予防健診を

戸田の会

野澤 茂雅 議員

Q 継続した小児生活習慣病予防健診を

A 継続検査の実施について今後研究する

議員 15年にわたり実施している、小学校4年生を対象とした「小児生活習慣病予防健診」の目的は。

教育部長 小児生活習慣病予防のため、児童の規則正しい、健康で明るい学校生活を促進することが目的。

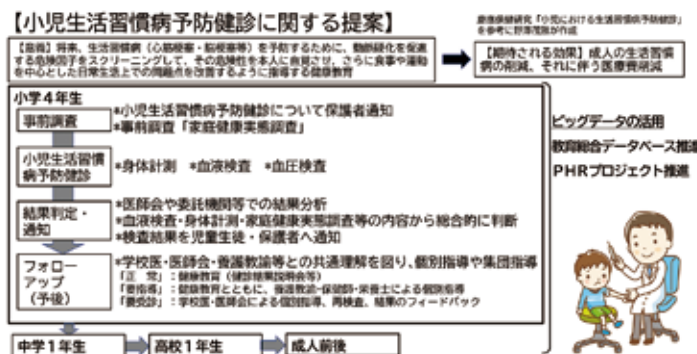
議員 小児の20～30%は成人の生活習慣病予備群であり「受診時の生活習慣病を認識・改善すると同時に、大人になってから健康な生活を送るための予防策である」という意義も明確に認識してもらいたい。健診結果の状況は。

教育部長 令和4年度の要改善児童の割合は28%となっている。

議員 専門的見地でフォローアップするためには、医師会との連携や、4年生に加え、中学校1年生での健診が必要では。

教育部長 今後研究していく。

議員 本事業は、国の「国民の健康づくりに向けたPHRの推進」事業にも結びつく重要な施策であることも踏まえ①健診前の事前調査としての家庭健康実態調査②学校医・医師会と連携した専門的見地からのフォローアップ(予後)③小4・中1・高1・20歳頃までの複数回の継続的健診と経過観察15年間及び今後も蓄積される健診ビッグデータの有効活用を提案する。



録画配信

QRコード

交通安全対策

つぶやき

地域全体で子供たちの交通安全の見守りを！

戸田の会

宮内 そうこ 議員

Q 7歳前後の子供の交通事故防止を

A 小学校入学前後に交通安全教育を行う

議員 小学校1年生の歩行中の死傷者数は他の年代に比べ突出して高く「魔の7歳」と呼ばれ、特に入学直後の5月に事故が急増する。本市の事故防止の取り組みは。

各部長 横断歩道での歩行者優先のルールについて、車両運転者への啓発活動を行っている他、すべての幼稚園や保育園で交通安全教育に取り組み、小学校入学後も各学校で警察署や市による交通安全教室や「子ども自転車運転免許教室」などを実施している。

議員 「魔の7歳」について、入学説明会の資料などで保護者に呼びかけ、家庭での指導につなげては。

教育部長 令和4年度に市内小学校1年生全員にチラシを配布した。今後も引き続き、交通事故防止徹底のための保護者への啓発や情報発信を行っていく。

議員 事故急増の理由に入学後の環境変化が挙げられる。子供は親の手を離れ、一人で行動することが増え、危険な場面が急増する。地域全体で子供を見守ることが大切で、警察署などと連携して入学前後の交通安全教育をさらに強化し、交通安全対策を徹底してほしい。



その他の質問

Q 学童保育室を見直し「小1の壁」の根本的対策を。

A 保護者の不安や負担軽減にできる限り努める。

録画配信

QRコード

子供の居場所

つぶやき

子供たちが幸せを感じる戸田市をプレゼントしてね

日本共産党戸田市議

むとう 葉子 議員

Q 子供の居場所に対する補助金の創設を

A 県や市の補助金制度の情報を提供する

議員 「子供の貧困」が問題となっている理由として、非正規労働や派遣労働者の拡大が挙げられ、制度をつくっている政治の責任である。貧困の連鎖が懸念される中、市民ボランティアによる子供食堂や学習支援などが広がっている。場所や人件費に対する補助金制度の創設を。また、固定した実施場所を市で準備できないか。

こども健やか部長 会場費を含めた補助金制度は、県や市の社会福祉協議会の制度の周知や情報提供を行う。また、市として「こどもの居場所づくりセミナー」を開催し、ネットワークを構築して課題を補足し合えるようなつなぎ役を行う。

議員 戸田市共創のまちづくり補助金は3年間限定、SDGs補助金は単年度で、子供の居場所事業を想定した補助金ではない。社会福祉協議会の補助金も受け取れるか分からない中、次の予定が立てられないことが課題となってきた。市が責任をもって子供の居場所の確保と新しい補助金を創設することを要望する。



子供の学習支援の調理実習 イカの特徴とさばき方

その他の質問

Q コロナ感染での自宅療養中の支援継続を。

A 食料品等を事前に準備するよう周知する。

録画配信

歩行空間整備

分身ロボは不登校児童生徒にも活用できそう

戸田の会
あそ 浅生 和英 議員

Q 水路上を歩行空間として有効活用しては

A 国に対して働きかけていく

議員 新大宮バイパスに面している笹目3丁目の開水路は、現在、高い柵に囲われ活用の機会がない。水路にふたをして、歩行空間として有効活用してはどうか。

水安全部長 昭和40年代の新大宮バイパス建設に伴って整備されたものとされており、現在は雨水排水施設として利用されていることから、安全対策として、水路の周囲に高さ約1.8メートルの立ち入り防止柵を設置している。当面、ふた掛けや暗渠化などの改修予定はないが、水路が暗渠化された場合、有効活用も可能である。

都市整備部長 水路と並行する国道では、歩行空間の確保を働きかけた結果、植樹帯の一部撤去が実現した。水路敷を歩行空間として活用できないか、改めて国に対して働きかけていく。

その他の質問

Q インクルーシブ教育の推進を。

A 子供の自立と社会参加を見据え、多様で柔軟な仕組みづくりが重要だと考えている。

Q 多様な学びの環境整備に分身ロボットの活用を。

A 1人1台端末を効果的に活用した学びの在り方を検証していく。



多様な学びの環境整備が進められています

録画配信

子どもの権利

庁舎庭園の桜花、ありがとう、さようなら

日本共産党戸田市議団
はな い のぶ こ 花井 伸子 議員

Q 子どもの権利条例の制定を

A 令和5年度に制定する予定

議員 4月にこども家庭庁がスタートする。「子どもの権利を保障し、誰一人取り残さず、社会全体で後押しをする」としているが、市の体制づくりと、共通の基盤づくりのため、「子どもの権利条例」の制定を。

こども健やか部長 5つの関係部局が連携した「子ども応援プロジェクト」に取り組む。令和5年度に「地域で子育て支援を推進する条例」を制定する予定。

Q 笹目川左岸遊歩道にベンチを

A 設置に向けて検討する

議員 笹目川に架かる境橋から芦原橋の区間にベンチの設置を求める要望が出ている。設置の考えは。

都市整備部長 現在設置されていない区間については設置に向けて検討する。



ベンチの設置が求められている笹目川左岸遊歩道

Q 文化会館前の点字ブロック改善を

A できるだけ早く整備する

議員 文化会館前のバス停にある点字ブロックから、文化会館前交差点へ誘導する点字ブロックの設置を。

都市整備部長 文化会館前のバス停から北側へ20メートル、南側へ60メートルの区間をできるだけ早く整備する。

録画配信

グリーフケア

悲しみと向き合う人に寄り添い支援します

公明党
み わ 三輪 なお子 議員

Q 周産期グリーフケア[※]の取り組みは

A すべての妊婦へのアンケートで把握する

議員 周産期グリーフケアの取り組みは。

健康福祉部長 ハイリスク妊婦など、母子保健コーディネーターが妊娠届出時から経過を確認している方や、関係部局からの情報提供を受けて対象を把握している。また、妊娠8カ月時点ですべての妊婦へアンケートを行うため、回答内容によって対象者を把握していく。

議員 市のホームページに相談窓口の案内や受けられる公的支援を掲載したり、「情報リーフレット」を作成してはどうか。

健康福祉部長 相談窓口などの案内を市ホームページに掲載していく。リーフレットは喪失感を抱える方へ配慮し、慎重に検証したうえで作成を検討していく。

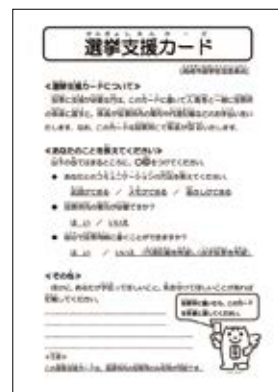
その他の質問

Q 投票所で係員に手伝ってほしいことを記入する選挙支援カードを作成してはどうか。

A 投票に行く際の不安を解消し、安心して投票に行くことができるなどの効果が見込めることから検討していく。

Q 抗体検査・ワクチン接種が進んでいない。

A 更なる受診勧奨を進めていく。



投票に行く際の不安の解消が期待されます

※周産期グリーフケア…死産・新生児死亡で子を亡くした母親・家族の悲嘆過程に寄り添うケア

※ゾーン30プラス…最高速度30キロメートルの区域規制と物理デバイスとの適切な組み合わせにより、交通安全の向上を図ろうとする区域

録画配信

ゾーン30プラス

通学路における安全対策のさらなる推進を！

立憲民主とだ
こ がね ざわ まさし 小金澤 優 議員

Q 市内における設置状況は

A 美女木小学校周辺に設定している

議員 交通事故から子供の生命を守ることは、子育て世代にとって大きな関心事である。市内におけるゾーン30プラス[※]の設置状況は。

都市整備部長 令和4年度に市内で初めて、美女木小学校周辺の約20ヘクタールの区域を対象としてゾーン30プラスを設定しており、区域の各入口にゾーン30プラスを示す規制標識を警察が、路面標示を市が設置する他、車道を狭める狭窄^{きょうさく}などを実施している。

議員 美女木地区については埼玉県内で最も早い導入例と思われる。先進事例として誇れるものであり、ぜひ他の地域でも検討していただきたい。



狭窄などの更なる設置が求められます

Q 現役世代のがん患者への支援は

A 2つの助成制度を創設する

議員 18歳から39歳までのがん患者は、介護保険や障害者総合支援法の対象にならず、生活に対する公的支援制度もない。家族に大きな負担がかかることに対して支援は考えているか。

健康福祉部長 本市独自の支援として、治療による外見の変化を補完する医療用補正具の購入補助や、末期がんと診断された若年がん患者の在宅での療養生活を支援する助成制度を創設する。



録画配信

荒川水循環センター

つぶやき

環境問題は数値だけでは測れない

みらいの会

古屋 としみつ 議員

Q センター周辺で悪臭がするが対策は

A 臭気はすべての数値で規制値未満である

議員 周辺住民は荒川水循環センターからのくさい臭いに悩まされている。臭気測定の実状は。

環境経済部長 センターが実施した年4回の臭気測定では、特定悪臭物質すべてにおいて規制値未満である。

議員 臭いは数値だけでは測れない。測定は年4回だが、地域の方々は365日、日々の生活を送っている。県・市・地域と一体となって話ができる場をつくり、周辺住民に開かれた事業の推進に努めてもらいたい。

環境経済部長 センターでは情報共有や対話を積極的に推進している。

議員 地域の考えをしっかりと聞き、市を含めた三者が信頼感を持ち、事業を進めてもらいたい。測定値が基準に適合していることで良しとするのではなく、日々生活する地域の方々に寄り添いながら事業を進めて行くことを要望する。



下水処理が行われている荒川水循環センター

その他の質問

Q 戸田公園駅南第1駐輪場は新規の定期利用枠が取りづらい。

A 利用者の意見を集め、料金格差や利用期間の設定、一時利用とのバランスなどを研究する。



録画配信

高齢者支援

つぶやき

みんなで健康づくりに取り組みましょう

公明党

石川 清明 議員

Q 高齢者対象の給付金を

A 国の動向を注視し対応を検討する

議員 高齢者を対象にした給付金を検討してはどうか。

健康福祉部長 生活支援として上下水道料金の基本料金減免、市内消費の活性化による事業者と市民生活の同時支援を目的としたキャッシュレス決済ポイント還元事業など、総額約11億7千万円の取り組みを進めてきた。国の動向を注視し、新たな財源が示された場合には、給付金も含め対応を検討する。

議員 キャッシュレス決済ポイント還元事業は、高齢者の方にはなかなか利用できないとの声もある。高齢者の利用促進に向けて取り組んでいることは。

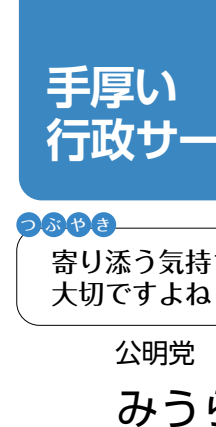
環境経済部長 キャッシュレス決済ポイント還元事業については、キャンペーン開始に当たってその都度、高齢者をはじめ、キャッシュレス決済に不慣れな方に向けたスマートフォン講座を無料で実施している。

議員 高齢者の免疫力を高めて健康づくりを推進する、高齢者向けのリーフレットを作成し、配布してはどうか。

健康福祉部長 市で行っている健康づくりにつながる高齢者向けの取り組みを、分かりやすくまとめて周知することは有効と考えられることから、前向きに検討する。



市では健康づくりにつながる高齢者向けの取り組みが行われています



録画配信

手厚い行政サービス

つぶやき

寄り添う気持ちって大切ですね

公明党

みうら 伸雄 議員

Q (仮称)寄り添いコンシェルジュの設置を

A 今後、必要性について調査・研究していく

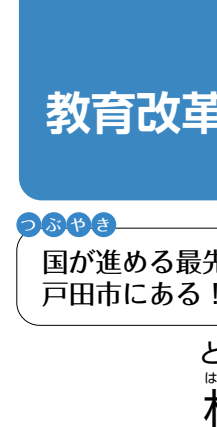
議員 高齢者や障害者の方が市役所窓口に来てじっくり相談する際、一緒に説明を聞きながら市民目線に立って要点理解のサポートを行う、ソフト面からの支援として「(仮称)寄り添いコンシェルジュ」の設置を提案するが、市の見解を伺う。

企画財政部長 現在の市の窓口におけるソフト面の支援については、職員による丁寧な対応を基本としつつ、手続きの取扱件数が多い市民課窓口では、業務委託により記載台での申請書の記載などをサポートする人員を配置するなどしている。「(仮称)寄り添いコンシェルジュ」の設置については、その必要性及び財政負担などを総合的に鑑みると、現時点では難しいと考える。

議員 高齢者の方たちとの懇談会の中で「そういったサービスがあると安心だし、非常に助かる」との声が圧倒的に多かった。今後、そのサービスへのニーズが増えた場合における設置の可能性について伺う。

企画財政部長 今後の急速な高齢化に伴う人口構造の変化を踏まえると、ソフト面の支援策も変化することは十分考えられる。他自治体の動向なども注視しながら、今後、必要性について調査・研究していく。





録画配信

教育改革

つぶやき

国が進める最先端の教育が戸田市にある！

とだ彩光会

林 冬彦 議員

Q 東小を視察された岸田首相の着目点は

A 教育改革の先進的取り組みなどに注目

議員 戸田東小学校を視察された岸田首相は本市の教育の何に注目されたのか。

教育部長 国が進めるGIGAスクール構想や学校の働き方改革の実現に向けた取り組み状況について、本市を先進地として注目いただいたと認識している。

議員 本市の教育改革で重視する4つの取り組みとは。

教育部長 ①教科教育をはじめとした日々の授業改善の推進②1人1台端末の活用など、教育とテクノロジーの融合③客観的なデータを根拠とした教育のトライアル④児童生徒による課題発見・解決型の探究的な学びの推進である。これら4つを英語表記した頭文字を合わせ「SEEPプロジェクト」と称するが、「SEEP」には「浸透(じわじわと染みこむ)」という意味もある。

議員 GIGAスクールの先にある教育の未来とは。

教育部長 変化の激しい時代を生きるとだっ子たちが「誰一人取り残されることなく、その可能性を最大限に伸ばす」教育の実現を目指す。SEEPプロジェクトや総合的な不登校対策「戸田型オルタナティブ・プラン」をはじめとした取り組みをさらに進めていく。

議員 市を挙げての「教育のまち」が理想形。国内最先端の取り組みや知見を市民も共有できるよう進めてほしい。



岸田総理が市内の学校を訪れ、デジタル活用の授業を視察されました(視察の様子については、広報戸田市(QRコード先)に掲載されています)



録画配信

シニアの 活躍支援

「健幸」は家や職場以外の居場所づくりから

戸田の会
矢澤 青河 議員

Q 定年後30年間の過ごし方、就労支援を

A シニア社会参加推進プランを策定する

議員 人生 100 年時代。定年後 30 年の過ごし方を考えることは、健康寿命の延伸、増え続ける医療介護費の抑制、担い手不足の解消など多くの意義がある。2025 年にはすべての団塊の世代が後期高齢者となる超高齢社会が到来するが、コロナ禍の社会的孤立や自粛による心身の衰えも相まって、シニアの第 3 の居場所の確保や社会進出の促進は喫緊の課題である。国はこれに備え、定年の引き上げや、高齢者の就業確保措置を推進。厚労省の「生涯現役地域づくり環境整備事業」では、県や市などが中心となり、シニアの地域就業確保計画や、関係機関による協議会を設置し、シニア活躍支援のモデル地域づくりを行っており、特に、人手不足だがシニアとのマッチングが困難な保育や介護、学習塾などの分野との成功事例も多い。今後のシニア活躍支援について伺う。

健康福祉部長 部局横断的な体制で、令和 5 年度に「戸田市シニア社会参加推進プラン」を策定する。

議員 定年後の人生プランは、50 代頃から考えることが望ましいが、市からの直接的なアプローチは難しい。会社経由での従業員への啓発冊子配布や、健康経営の促進など、市内企業と連携した啓発を行えないか。

環境経済部長 商工会のセミナーなどで働きかける。





録画配信

市民医療 センター

戸田市はまだまだ改善の余地が大きい

戸田の会
酒井 郁郎 議員

Q 安定した運営は困難、執行部は決断を

A 今後の在り方を全市的に検討すべき

議員 医療センターは毎年約 3 億円の赤字だが、構造的に経営改善は困難と聞いている。近隣に多くの診療所などができ、外来部門は長期低迷、近年は医師が確保できず入院病棟を休止中である。ところが、これまで課題として検討がなされておらず、建設的な議論が深まっていない。必要な医療機能を精査し、代替手段を検討するなど、執行部は検討を。

市民医療センター事務長 中長期的な医療センターの在り方は、しっかりと議論を進めていく。



中長期的な医療センターの在り方が求められます

Q 「障害者就労のプロ」との協定を生かせ

A 障害者就労への取り組みを検討する

議員 本市は 1 月に(株)スタートラインとの包括連携協定を締結し、障害者支援などに取り組む。当該企業は全国 1400 人、市内で約 140 人もの障害者の就労を支援するプロフェッショナルである。障害者の就労環境改善、雇用創出、適職診断やトレーニングなど多岐にわたるノウハウを本市で生かし切ることで、障害者政策を大きく改善できる可能性がある。

健康福祉部長 障害者就労への取り組みについては、ニーズを見ながら検討していく。

議会topics

市議会「服装の自由化」を試行

本市議会では、男性のみネクタイの着用が求められるなどといったこれまでの慣習を見直し、男女平等や多様性を尊重することを目的に「服装の自由化」を試行します。試行期間は令和 5 年 3 月定例会から 1 年間で、気温などに応じた服装の着用による省エネルギー化やストレスの軽減のほか、議会の雰囲気や和やかにする効果などを期待しています。



議会モニターに委嘱状を交付

今年度の市議会モニターに応募いただいた 5 名の方々に、議長より委嘱状を交付しました。任期は令和 6 年 2 月 5 日までの 1 年間で、議会モニターの方々には議会の傍聴などを通してさまざまなご意見をいただき、今後の議会運営に生かしていきます。



今年は 5 名の方が議会モニターに委嘱されました

議会だより編集方針を策定

令和 4 年 3 月定例会号にて大幅なリニューアルを行ったことを機に、「とだ議会だより」が目指す姿を定める「戸田市議会 議会だより編集方針」を策定しました。

今後も編集方針に基づき、より良い議会だよりを目指してまいります。

【基本方針】

議会だよりは、議会・議員の動きを市民に伝える重要なメディアであり、結果を「伝える」だけでなく、読まれ、役立ち、議会を身近に感じてもらうための「伝わる」議会だよりを目指す。

また、「議会だよりは議会に触れる入り口」と位置付け、手に取った人が読み進めやすいよう、限りある紙面に詰め込み過ぎず、議会ホームページの録画配信などへの誘導を図る。

令和4年 戸田市議会年間活動成果

各委員会では、年間活動テーマや検討事項を定め、行政に対する政策立案・政策提言や議会改革を積極的に行っています。

ここでは、令和4年における各委員会の活動成果の概要をお伝えします。

提言書などの
詳細はこちら



委員会名	年間活動テーマ	年間活動成果
総務常任委員会	公共施設等の現状と今後の対応について	提言書を執行部へ提出
文教・建設常任委員会	自転車によるまちづくりについて	
	中学校での評価・指導の在り方について	調査結果報告書を執行部へ提出
健康福祉常任委員会	SDGsの理念を生かした新しい生活について	提言書を執行部へ提出
市民生活常任委員会	脱炭素社会の実現に向けて	
まちづくり・交通対策特別委員会	環境空間 [※] について	要望書を執行部へ提出
議会改革特別委員会	災害時の対応強化について	オンラインを活用した災害対応訓練を実施
	オンライン本会議に係る意見書について	議場への参集が困難な場合には、本会議への出席や表決の意思表示等がオンラインによっても可能となるよう、地方自治法の規定を速やかに改正することを国に求める意見書を提出
	陳情の取り扱いについて	原則として議会の審査対象とすべきことを決定
	執行部出席の在り方について	地方自治法の規定を踏まえ、出席要求している市長の判断によるものとすることを確認

総務委員会 公共施設等総合管理計画の見直しに向けて新たな視点を

平成29年に策定された公共施設等総合管理計画が令和5年度に見直されることを受け、計画の目的に「ニーズ」「防災」「SDGs」の視点を加えるよう「公共施設等の現状と今後の対応への提言」を提出しました。「ニーズ」では変化するニーズに対応できる大規模修繕や建て替えなどを、「防災」では大規模修繕や建て替えに要する期間を考慮した検討などを、「SDGs」では自然エネルギーの採用などについて提言しています。



1月26日 企画財政部へ提言書を提出

文教・建設委員会 自転車のまちに向けた機運の醸成を／将来を見据えた教育を

自転車によるまちづくりについては、「戸田市みんなで守ろう自転車の安全利用条例」制定から10年が経過し、ルール・マナー向上、環境整備、利用促進を図るため、「自転車のまちに向けた提言書」を提出しました。また、学校教育については、学習指導要領が改訂され、特徴的な取り組みであるテストの在り方、宿題の必要性、全員担任制について調査研究し、「中学校での評価・指導の在り方についての調査報告書」を提出しました。



1月26日 都市整備部へ提言書、教育委員会へ調査報告書を提出

健康福祉委員会 市長のリーダーシップのもと子供の居場所づくりの推進を

SDGsの様々な目標の中でも「貧困」に焦点を当て、子供の居場所づくり事業について調査・研究を行い「子どもの居場所づくりについての提言書」を提出しました。子供の居場所ポータルサイトを開設し、情報の集約・発信を行うことや、子供の居場所の立ち上げや運営支援、市民活動団体とのマッチングを行うなど、継続的な支援するための子育てコーディネーターの配置などを提言しています。



1月26日 こども健やか部へ提言書を提出

市民生活委員会 脱炭素社会の実現に向けて

脱炭素社会に向け、自治体には事業者や市民の模範となるよう、率先的に取り組むことが求められます。しかしながら、脱炭素への挑戦はかつてない転換が求められ、実現に向けて多くの課題があり、自治体だけでは達成することが非常に困難です。CO2の大部分が「食」「住居」「移動」に関連しており、この領域におけるライフスタイルの転換が重要です。既存の枠組みにこだわらず広くアイデアや技術を募り、一步一步課題

解決に向けて取り組んでいくことを提言しています。



1月26日 環境経済部へ提言書を提出

まちづくり・交通対策特別委員会 未利用地となっている環境空間の早期整備を

環境空間がより親しまれる場所となるよう、「合意書緑地として集積予定である戸田市スポーツセンター付近の環境空間の整備に関する要望書」を提出しました。未利用の環境空間の早期整備をJR東日本に働きかけることや、合意書緑地の集積予定地である戸田市スポーツセンター付近の環境空間について、隣接する土地区画整理事業地と一体的な整備が進められるようJR東日本と協議することなどを要望しています。



1月18日 環境経済部へ要望書を提出

議会改革特別委員会 さらに議会改革の推進を

- 災害時の対応強化を目的に、市内震度6弱の地震を想定し、オンラインを活用した災害対応訓練を実施。
- オンライン本会議を開催できるよう、地方自治法の規定を速やかに改正することを国に求める意見書を提出。
- 陳情の取り扱いについては、原則として議会の審査対象とすべきことを決定。
- 執行部の出席は、地方自治法の規定を踏まえ、出席要求している市長の判断によるものとすることを確認。



オンライン会議の円滑な運用について調査研究中

表紙写真紹介

喜沢南保育園の入園式に伺いました

令和5年4月1日、喜沢南保育園の入園式が行われました。かわいらしい洋服に身を包んだ子供たちが、初めて集まる場所で、期待と緊張が入り混じった様子で会場に入ってきました。

式では、園長先生のあいさつから始まり、その後、園児たちの名前が呼ばれ、元気に返事をする、保護者から大きな拍手が送られていました。入園式は無事に終わり、これからたくさんのかことを学んで、新しいお友達とともに成長して欲しいと思います。



次回6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
		5/30 議案 説明	31	6/1	2	3
4	5 質疑	6 常任 委員会	7 特別 委員会	8 一般 質問	9 一般 質問	10
11	12 一般 質問	13 一般 質問	14	15	16	17
18	19 討論 採決	20	21	22	23	24

題字を
書いて
くれた人



とだ

題字に選んでいただきとても嬉しく思います。今回特に注意したことは「た」の三画目の入りを細かく書いたことと、全体的に力強くかっこよく書くことです。何度も練習し、納得のいく作品を書くことができました。

戸田第一小学校 6年 ^い^で^み^く井手 美来さん

とだ議会だより

読者アンケートに

ご協力をお願いします！

今定例会号から「とだ議会だより」の配布方法が、これまでの町会・自治会経由の配布から、ポスティング業者による全戸配布へと変更になりました。

そこで、この機会に初めて「とだ議会だより」を手にとっていただいた方も含め、議会だよりに対する皆様のご感想をいただき、今後の編集・発行に生かしていくため、「読者アンケート」をご用意しました。

個人情報の入力などは必要なく、1分程度で回答できますので、ぜひご協力をお願いします。

アンケートへの
解答はこちらから



新 年度を気持ち新たにスタートした方々が多いのではないのでしょうか。順風満帆な日ばかりではありませんが、予想だにしないものとの出会いは自らの成長へと繋がります。互いに勇気を持って未来を創造しましょう。(花)

お 弁当とレジャーシートを持って近くの公園までピクニックに行ってきました。普段目立たない公園なのに、清々しい風、心地よい日差し、緑を感じます。市内には多くの公園があります。皆さんも近くの公園でピクニックしませんか。(古)

数 年ぶりの広報委員。読んでくださる方々へ「どうしたら分かりやすく伝わるか」「どんな記事が面白いのか」などと日々思考。1年間の服装自由化も試行されたので、時代錯誤のお堅い議会のイメージを和らげるよう試行錯誤を重ねます。(青)

昨 年、長男が結婚式を挙げ、我が家にも待ちに待った初孫が、5月5日に誕生予定です。孫の将来のためにも健康には十分留意し、より一層「安全で安心なまちづくり」に努めてまいりたいと思います。(峯)